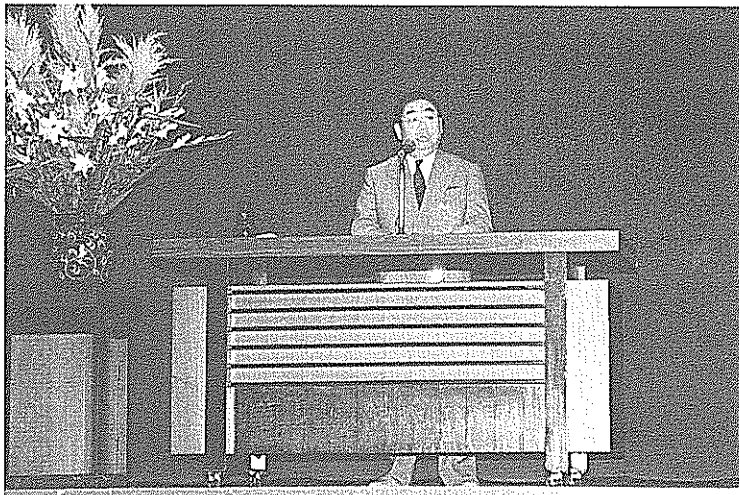


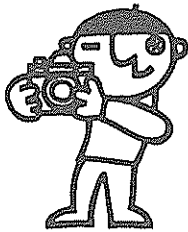
# 小林亜星さんを迎え

## 健康づくり講演会

十月五日に「第三回健康づくり講演会」が市民体育館で行われ、約三百五十人が参加しました。これは、積極的な健康づくりを考えてもらう機会になれば、と南国市と南国市健康づくり推進協議会（北村武会長）が主催して開いたもの。



今回は初めて市内の医師団や歯科医師会の協力も得てミニ講演や健康づくり活動についての実践報告も行われ、その後「歌は世につれ、世は歌につれ」と題して小林亜星さんが講演。会場では、コンピュータドッグや体脂肪検査なども行われ、多くの参加者が受診していました。



## カメラ レポート

## 秋空の下

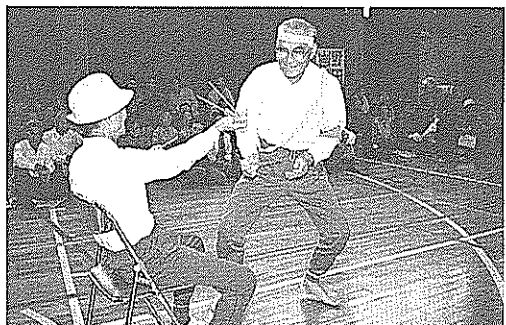
### ウォークラリー



十月十日に国府、長岡、十市の市内三方所でウォークラリー大会が行われ、約五百人が参加しました。これは南国市体育指導委員連絡協議会（小松英輔会長）と南国市などが主催して初めて開いたもの。  
十市会場では、家族や友人等のグループが、途中クイズやゲームなどを織り交ぜながらコースを回っていました。

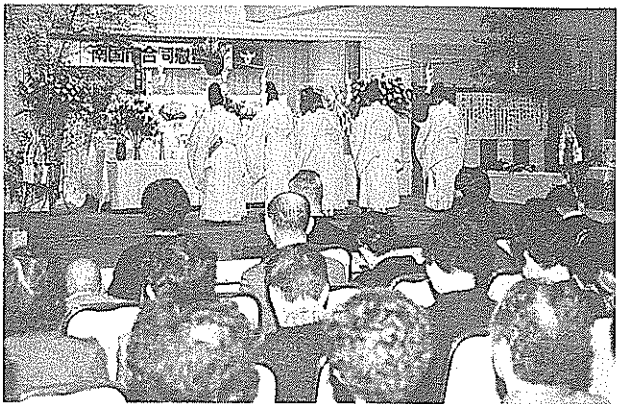
## 長生きは健康から

十月十二日、市民体育館で約三百人が参加して老人運動大会が行われました。市内を八地区に分けての対抗戦で、はし拳や缶釣りなどの競技で競い合った結果、今年は日章地区が優勝しました。



## 優雅に社交ダンス

婦人スポーツ教室の一環として行われていた社交ダンス教室が十月十五日の最終日にパーティーを開きました。この日は、教室生六十人が参加。これまでの二十回の練習の成果を披露していました。



## しめやかに慰霊祭

日清・日露から太平洋戦争までの戦没者を追悼する南国市合同慰霊祭が、十月十五日、ホリデイ・ホールに約四百八十人が参列して行われました。  
戦後約半世紀過ぎた今も、最愛の肉親を失った遺族の悲しみは尽きることなく、戦没者の方々の冥福を祈るとともに、こうした悲劇が二度と訪れないように参列者一同、恒久の平和を確立していくことを誓いました。



## 南国市演芸大会

南国市演芸大会が十月六日、市民体育館で行われました。この演芸大会は南国市社会福祉協議会等が主催して毎年行われているもので、今年で十一回目。舞台では出演者が日ごろ鍛えた踊りや舞を次々と披露。会場を埋めた大勢の観客から盛んな拍手を浴びました。



## 触れ合いバザーにぎわう

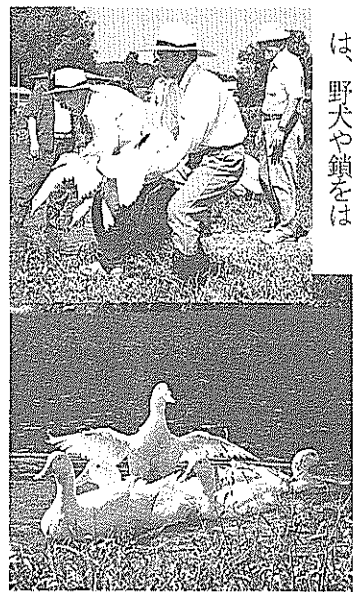
地元との交流と施設をもっとよく知ってもらうと、十月十三日、「なんこく共同作業所」(山本忠明所長)でオープン一周年を祝うバザーが開かれました。朝からたくさんの人出で、ボランティアとして協力した久礼田地区の民生員や高知農業高校の生徒たちを含む、四十人ほどのスタッフも大忙し。午後二時ころにはほぼ完売となりました。千人近い人が来てくれてうれしい。事業も順調に進んでおり、毎年行っていきたい」と主催者たち。はちきん太鼓の出演や



池知隆さんのきりえコーナーも開かれていました。

## 国分川に新たなシンボル

十月十三日、「国分川をきれいにする会」(門田理博会長)がコイ、アユに続いてアヒルを国分川に放しました。ふ化したばかりのころから育てられた十六羽は、野生として生きる事が出来るまでに成長したこの日、育ての親たちに見送られて自



然の中へ。会員たちの心配は、野犬や鎖をは

ずされた飼犬の存在。たくましく生き抜いて川のシンボルとなっしてほしいものです。